

なかつか 亮



2016年5月22日(日)
NO494
区議控室 Tel 5742-6818
事務所 大井3-19-7-101
Tel 3773-3231



(昭和52年2月15日広報しながわ)

生活をおびやかす 航空機騒音公害 昭和52年「広報しながわ」掲載 市街地通過に品川区は引き続きの反対を

44%が航空機騒音

品川区と区議会、住民の運動によって、羽田空港への着陸ルートを現在の海上ルートに変更させた。当時の反対運動について「広報しながわ」にて、当時の貴重な資料が見つかりました。

昭和50年代前後、羽田空港への着陸機が頻繁に品川区の上空を飛行し、住民の生活を苦しめていました。

昭和52年「広報しながわ」(上図)には「生活をおびやかす航

空機騒音公害」と題し、区が実施したアンケート調査を掲載。住民が感じる公害の44%が航空機騒音だと紹介し、空港の沖合移転(海上ルート)や飛行時間帯の縮小など、国への要請を紹介しています。

区の結果と説明

こうした運動が力となり、羽田空港の沖合移転が実現。着陸も離陸も現在の海上ルートに変わり、この変更について区は今でも「区の結果」と、議会で説明しています。裏

区民の生命・財産を守るため 羽田空港の拡張には反対

(昭和49年6月1日「広報しながわ」)



当時、羽田空港の新たな埋め立て認可を受け、発着便が増えれば区民への影響は深刻と「羽田空港の拡張には反対」と品川区(上图)。各地の墜落事故を紹介し「空港周辺の住民は、常に航空機事故の危険にさらされ、発生した場合の被害は想像に絶する」「航空機災害の回避のため住宅工場等にかからない離着陸コースを設定すること」と国に求めました。

また区議会も、墜落事故の頻繁に対して「重大な問題」として活発な討議が紹介されています。

いま、再び品川を低空飛行するルートが浮上です。当時に学び、力をあわせて、新ルートを撤回させましょう。

計画を進める安倍政権は今年8月にも決定しようとしています。まさに今が反対運動の大事な時期です。



アピールデモは今回で4回目

あぶない、うるさい、資産価値の低下 品川低空飛行は撤回を

5月22日(日)午後3時より大井町イトーヨーカ堂前署名宣伝

6月19日(日)午後1時より池上通りをアピールデモ
★デモ行進は大井中央公園(大井1丁目)を出発し鹿島庚塚児童遊園(大井7丁目)まで ぜひ、ご参加を!!

次回の「気軽な町の無料法律相談会」は日程が決まり次第、お知らせします

なかつか亮の駅前宣伝 火曜日朝7時半～大井町駅、金曜日朝7時半～西大井駅、土曜日夕方4時～大井町駅